

(ユナイト)

Unite・団結だより

by ながた

第 9 号**神原中・神原小・壺屋小
発行責任者 上地幸市**

いよいよ今年度最後の合同授業研が9月29日(木)に神原小学校で行われます。そこで、永田教頭に授業研のテーマや授業で身につけさせたい力、授業研究会の論点について情報を寄せて頂きました。ねらいとする力を付けるための手立て等について活発な意見交換を行い、楽しい時間にしていきましょう。

神原小校内研テーマ

自ら思い・考えを表現し、共に高め合う児童の育成
～「主体的・対話的で深い学び」に向けた質的授業改善を通して～

研究仮説

各教科の指導における質的授業改善において、児童一人一人が様々な他者と積極的にかかわりながら課題を解決していく授業づくりを工夫することにより、自ら思い・考えを表現し、共に高め合う児童の育成が図られるであろう。

公開授業にむけて

今年度神原小学校では「主体的・対話的で深い学び」に向けた学習の質的改善をめざした授業づくりに取り組むことで、児童一人一人が自分の思いや考えを表現でき、共に高め合いながら社会性を身に付けられるようになっていくと考え、本研究テーマを設定しました。校内研修では、国語の「説明文」に研究内容を絞り、各学年において身に付けたい力を意識した授業づくりを行っています。

小中一貫研究授業では、3教科を公開します。

国語科は説明文「どうぶつえんのじゅうい」の教材文で、本時では「前時で作成した表や本文をもとに、獣医さんの一日の仕事の理由や工夫を捉える」力を育成します。

音楽科は「拍ののってリズムをかんじとろう」という題材で、本時では「拍を感じ取り、互いの音を聞き合いながら、リコーダー学習に粘り強く取り組もうとする」力の育成を図ります。

体育科は、「バトンをつないで記録にチャレンジ!」という単元で、本時では「チームの課題を明確にし、課題に適した練習方法を選んだり工夫したりする」力の育成を図ります。

本日は、ねらいとする身に付けさせたい力を育成するための手だてを授業参観の視点とし、その手だてが身に付けさせたい力の育成に有効であったかという論点で先生方と活発な意見交換ができればと考えております。

よくがんばりました！ ～神原中陸上競技選手団～

去る9月16日(金)に那覇地区陸上競技大会が体力の向上やマナー、愛校心・団結力を育むことをねらいに、浦添市陸上競技場で行われました。長い歴史のある本大会も昨年までは、新型コロナウイルスの感染予防のため実施ができませんでした。今年度、神原中では、コロナ対策や熱中症対策に万全な取り組みを行いながら、夏休みから練習に取り組んでおりました。

選手達の練習の様子や大会の結果等を総監督の泉先生に寄せていただきました。

地区陸上競技大会総評

令和4年9月1-6日(金)に行われる那覇地区陸上競技大会に向けて、神原中学校の代表メンバーを募り、夏休みから練習に励んできました。3年ぶりの開催ということもあって、3年生にとっては、最初で最後の大会でありマネージャーも含め日々の練習を自らの課題に向き合い取り組むことができました。

1・2年生にとっては、先輩の背中を見て来年に繋げるチャンスです。先輩についていこうとする姿がとても印象的でした。

大会当日、選手からは、「他校に負けない」「入賞してやる」など意気込んだ声も多くありました。自分たちで時間やアップトレーニングを考え、調整をする姿はとても頼もしかったです。

今大会では、女子の100MH走に出場した端ヶ山さんが3位、ジャベリックスローで端ヶ山さんが4位、共通女子4×100Mリレーで瑞慶山さん、金城さん、知念さん、前川さんチームが4位、砲丸投げで照屋さんが8位、1年女子4×100Mリレーで津波古さん、赤嶺さん、山城さん、菅原さんチームが8位、男子の110MH走に出場した根間さんが8位と多くの素晴らしい結果を残してくれました。

本当におめでとうございます。

最後に、地区陸上競技の練習に参加して下さった先生方、送迎等選手をサポートして下さった保護者の皆様、走り幅跳びの場所を提供していただいた小学校の先生方にたくさんの支えと愛情をいただきました。改めてお礼申し上げます。

これからの生徒の飛躍と活躍に期待したいと思います。

(文責 総監督 泉 祐之介)

神中生徒会も頑張っています！

神中生徒会主催の「うるとら超KAMIHARA運動祭(うるスポ)」が9月29日(木)、午前中の日程で行われます。

種目は、バレーボール、ドッジビー、障害物競走、借り物競争、5式綱引き、大縄跳び、代表リレーの7種目で、異学年チームで団を編成し競い合うスポーツフェスティバル。本行事は、7月に予定されていましたが、コロナの感染状況や台風の影響で延期されておりました。生徒は、マチカンティしておりましたよ。

保護者の皆さんも久しぶりの体育的行事を楽しみにしていることと思います。感染防止対策をしっかりとした上で参観いただきたいと思っております。

(文責 生徒会顧問 玉城静香)

第3回小中一貫教育合同授業研究会（案）

那覇市立神原小学校

1 日時 令和4年 9月29日（木） 14：00～16：30

2 ねらい・テーマ

(1) 神原中校区小中一貫研究主題

「自ら考える力と社会性を身に付けた児童生徒の育成」

(2) 神原小学校校内研テーマ

自ら思い・考えを表現し、共に高め合う児童の育成
～「主体的・対話的で深い学び」に向けた質的授業改善を通して～

研究仮説

各教科の指導における質的授業改善において、児童一人一人が様々な他者と積極的にかかわりながら課題を解決していく授業づくりを工夫することにより、自ら思い・考えを表現し、共に高め合う児童の育成が図られるであろう。

(3) 公開授業にむけて

今年度神原小学校では「主体的・対話的で深い学び」に向けた学習の質的改善をめざした授業づくりに取り組むことで、児童一人一人が自分の思いや考えを表現でき、共に高め合いながら社会性を身に付けられるようになっていくと考え、本研究テーマを設定しました。校内研修では、国語の「説明文」に研究内容を絞り、各学年において身に付けたい力を意識した授業づくりを行っています。

小中一貫研究授業では、3教科を公開します。

国語科は説明文「どうぶつえんのじゅうい」の教材文で、本時では「前時で作成した表や本文をもとに、獣医さんの一日の仕事の工夫や理由をまとめる」力を育成します。

音楽科は「拍によってリズムをかんじとろう」という題材で、本時では「拍を感じ取り、互いの音を聞き合いながら、リコーダー学習に粘り強く取り組もうとする」力の育成を図ります。

体育科は、「バトンをつないで記録にチャレンジ！」という単元で、本時では「チームの課題を明確にし、課題に適した練習方法を選んだり工夫したりする」力の育成を図ります。

本日は、ねらいとする身に付けさせたい力を育成するための手だてを授業参観の視点とし、その手だてが身に付けさせたい力の育成に有効であったかという論点で先生方と活発な意見交換ができればと考えております。